



Japan Writing Instruments
Manufacturers Association

日本筆記具工業会ニュース

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-30-6
TEL 03-3891-6161 FAX 03-3802-9692
発行：日本筆記具工業会 広報委員会 2002年11月1日 004号

設立1周年を期して理事会開催

5つの筆記具工業団体が統合して発足した日本筆記具工業会は、10月1日をもって設立1周年を迎えました。これを期して10月8日、理事会を開催。正副会長、常務理事、理事、関係者他が出席して、14年度上期の委員会活動報告、並びに収支報告を行いました。理事会の冒頭、数原英一郎会長が挨拶に立ち、満一年を祝し、会員の労をねぎらった上で、「世界の筆記具をリードしている業界として、発展のために協調し、新しい価値創造に励んでまいりましょう」とますますの結束と積極活動を促しました。引き続き、7月に就任した堀江圭馬副会長が挨拶を行い、各委員会の報告へと進みました。

14年度第3回理事会抄録

総務委員会（委員長：横井文夫副会長）

9月14日委員会報告（高橋泰昭副委員長報告）

○工場見学会について／10月16日実施の工場見学会について（詳しくは頁4）

○14年年末講演会・懇親会開催（予告）／年末講演会・懇親会は12月19日（木）開催決定。講演会にジュディ・オングさんを講師に招くことを決定

○中田勲監事辞任について／後任選出せずで合意

○工業会組織図の作成について

○会員の増強について

○会員の親睦について、他

流通委員会（委員長：堀江圭馬副会長）

9月4日委員会報告（堀江圭馬委員長報告）

○「お客様相談窓口連絡会」について／7月26日、10月4日開催の連絡会の成果等について報告

○カタログ等の協賛について／会員各社アンケートへの期待が高く継続実施をする旨の報告

○日本環境協会の「エコマーク」について／運用における諸問題を集約し、全文協と協調して行政に働きかける旨の報告

○低価格商品・返品問題について／共通問題を今後集約する旨の報告

○JANコードについて／単品JAN、箱JANの識別に関する小売要望の報告、他

調査研究・広報委員会（委員長：石川真一副会長）

10月3日委員会報告（石川真一委員長報告）

○本工業会ホームページ開設（詳しくは頁4）／伴うホームページトップページイラストとJWIMAロゴデザイン募集及び審査会の結果等につき報告

○ホームページの操作方法と内容説明、他

技術委員会（委員長：西村貞一副会長）

9月11日委員会報告（西本洋二副委員長報告）

○鉛筆部会報告／鉛筆の削り方に起因するしん折れ等のクレームについて、小売店頭で容易に対応できるマニュアルを作成した／次世代画線機の製作検討に入った旨の報告

○知的財産部会報告

①某ディスカウントショップ(50円コーナー)の実態調査：50円コーナーで扱われる商品の実態調査を行った。筆記具の模倣品は認められなかったが、パンチ、消しゴム、クリップで商標権侵害と目される製品があったため、全文協に対応を連絡した。同ショップ宛「知的財産権に関するお願い」の文書を発行した旨の報告
②同ディスカウントショップ(100円コーナー)の侵害品について：100円コーナーの扱い商品で実用新案権、及び意匠権の侵害に該当する本工業会会員の商品が認められた。該当企業から「警告文」をショップ宛に発送し、ショップは10月3日付で「警告文を受領した段階で当該商品の販売を即刻中止した」と返答した。その後、ショップ側は、今後は真正メーカーの同一ブランドを仕入れたいと回答があった旨の報告

③海外見本市カタログによる模倣被害実態調査報告書／広州交易会等で収集したカタログを調査、結果報告を行った

○ISO関連について／本工業会はISO(国際標準化機構)、TC10(製図製品の規定と関連文書)、SC9(製図機器及び製図用具)の国内審議団体になった。本年4月1日付で工業標準調査会はこれを承認した旨の報告

国際委員会(委員長:小川洋平副会長)

9月25日委員会報告(小川洋平委員長報告)

○ISOT2002開催中に行った「模倣品対策」諸活動の報告(詳しくは右コラムにて)

○ボールペンの筆記試験用紙についての経緯報告

事務局報告

○本工業会上期収支報告 理事会承認

○14年上期筆記具統計について (以上、理事会報告)

部会報告

合同知的財産部会(10.17)

○本工業会・全文協合同知的財産部会開催／ISOT2003に向けての事前協議

①模倣品展示をしない旨の「誓約書」を条件に出展を認める方向で調整に入った

②「模倣防止セミナー」「真正品・模倣品比較展示ブース」を次期ISOTで継続実施する方向で調整に入った

③ISOT2002の日米欧三極会談の成果を受けて模倣品対策を強化する目的で「三極専門調査委員会」を設置したいとの希望が欧州から寄せられ、本工業会と全文協はこれを了承し、合同部会の中に調査委員会を設置することとした

④国際知的財産保護フォーラムに関する経過報告、他 (以上、部会報告)

役員人事

堀江圭馬・ぺんてる株式会社代表取締役社長が理事(副会長)に就任しました。

本工業会は7月10日、池野昌一前理事(副会長)の辞任に伴う理事補欠選任に係る理事会を行い、堀江圭馬理事及び副会長(流通委員長)を全会一致で選出。同月24日の臨時総会にて全会一致でこれを承認しました。(理事会及び臨時総会は書面審議)

池野昌一前理事(副会長)にあらせられましてはご苦労さまでございました。貴殿は本工業会設立に並々ならぬご尽力をされました。一同、深く感謝申し上げます。

模倣品と闘っています

本工業会は、(社)全日本文具協会(長谷川澄雄会長)と共催してISOT2002(7/11~7/13)の会期中に、「模倣品対策」に関するさまざまな活動を行いました。主体となって活動したのは、本工業会国際委員会(小川委員長)と技術委員会/知的財産部会(西村委員長)、及び全文協の技術・国際委員会/知的財産部会委員会(小川委員長)でした。

<模倣品対策セミナー>

7月12日(金)、東京ビッグサイト会議室に約100名の参加者と業界紙記者を集めて開催しました。主題は「中国の模倣品対策の現状と今後について」、講師は日本貿易振興会北京センター知的財産権室室長・日高賢治氏、特別ゲストに特許庁国際課総括班長・飯田博文氏を迎えました。講演では「官民協力して模倣品と闘い、WTOに加盟した中国企業の倫理観の熟成を促進しよう」と力強く本工業会をご支援くださいました。

<模倣品防止啓蒙コーナー設置>

ISOT東ホールの2小間を使って模倣防止に関する特許庁制作パネル掲示、会員企業の模倣被害事例の展示を行いました。

<模倣品相談コーナーを開設>

ISOT東4ホール全文協事務局室で弁理士 水野清先生をアドバイザーに「権利侵害」等に関する個別相談に応じました。

<日米欧三極会談の開催>

ISOT開催中の7月12日、本工業会、米国筆記具工業会(WIMA)、欧州筆記具工業会(EWIMA)、並びに全文協の首脳と行政側2氏の出席による三極会談を開催しました。特許庁の飯田班長から、アジア諸国の模倣品問題と対策に関するリアルな資料が提供され、スイスのメーカー・バウムガートナーファイバーテック社の取締役ダニエル・バーン氏がこれに答えて、「部品メーカーが模倣業者を手助けしている」との批判を紹介、三極工業会がワーキンググループを設置して部品輸出に関するなんらかの規制を講ずるべきだと提案。これをフランスのメーカー・サンフォード・ヨーロッパ社の社長ジャン・ピエール・ジャン氏が賞賛。これに対して、本会議長の小川副会長は、「我が国には独占禁止法等の法的拘束があるため、提案された対処法を『課題』としてとらえて取り組んでみてはいかがか」との総括を行い、出席者一同これを了解しました。以降、OEMメーカーの問題、税関の問題等に関する情報交換を行い、これらは今後の課題として継続して話し合っていくことを約束して閉会しました。

2002年4月～6月の出荷・輸出・輸入

繊維・生活用品統計（国内向け販売と輸出向け販売を含む）

（金額は百万円）

出荷	単位	2002年4-6月度		2001年4-6月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量%	金額%
ボールペン	千本	382,574	18,817	429,596	20,880	△10.9%	△9.9%
マーキングペン	千本	177,764	9,102	186,519	9,673	△4.7%	△5.9%
シャープペンシル	千本	79,667	4,948	85,690	5,472	△7.0%	△9.6%
鉛筆	G	428,603	1,402	459,677	1,571	△6.8%	△10.8%
シャープしん	千本	877,800	1,573	900,047	1,642	△2.5%	△4.2%
クレヨン・パス	千本	23,941	337	24,868	347	△3.7%	△2.9%
水彩絵の具	千本	17,579	721	20,255	830	△13.2%	△13.1%
修正液	千本	16,299	1,438	17,111	1,670	△4.7%	△13.9%
修正テープ	千個	15,982	1,763	—	—	—	—
合計金額			40,101		42,085		(△8.9%)※

※の変動率は目安です。修正テープを除く6品目総額の前年同期比です。Gはクロス(144本) 2002年の数量・金額は年報等と若干異なる場合があります。

◎2002年第2四半期(4~6月)の出荷合計は401億円で、前年同期より約20億円マイナスだった。前年度統計のない修正テープを除外した8品目の合計の平均変動率は数量でマイナス6.7%、金額で約マイナス9%で、デフレ圧力がメーカーに強く及んでいることがわかる。輸出は荒れ模様だが、合計金額の同期比はマイナス約3%で収まった。輸入は完成品のみで見ると数量で3.6%増、金額で1%増で、国内マーケットを荒らす現況になっていると推定できる。

◎品目別に見ると、ボールペンの変わらぬ輸出不振が出荷を鈍らせていることがわかる。クレヨンの輸出が急拡大したが輸出向けは出荷金額の約2割であることから、全体を押し上げるには至っていない。シャープペンシルの輸入が数量で5.5%増、金額で1.1%減という異様な光景を呈した。しんの輸入増も懸念材料。
◎完成品の出荷から輸出を除き、輸入を加えた「国内消費力推定」(4~6月)は前年同期比「マイナス4.1%」で、前期(-6.3%)より改善した。

日本貿易統計

（金額は百万円）

輸出	単位	2002年4-6月度		2001年4-6月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量%	金額%
ボールペン(油性)	千本	70,137	2,826	320,681	13,447	△13.3%	△10.9%
ボールペン(水性)	千本	223,492	10,117				
マーキングペン	千本	81,487	3,636	84,455	3,582	△3.5%	1.5%
シャープペンシル	千本	60,426	2,535	67,317	2,942	△10.2%	△13.8%
万年筆	千本	1,178	182	1,357	165	△13.2%	10.3%
以上のセット品	千S	277	32	126	20	119.8%	60.0%
鉛筆	G	42,549	100	46,754	123	△9.0%	△18.7%
シャープ用しん(鉛筆しんを含む)	kg	122,086	756	138,938	901	△12.1%	△16.1%
クレヨン	kg	21,122	64	7,396	26	185.6%	146.2%
			(小計20,248)		(小計21,206)		
ボールペン用中しん	千本	60,760	887	55,570	824	9.3%	7.6%
マーキングペン用ペン先及びニブポイント	千本	1,016,735	1,673	985,015	1,720	3.2%	△2.7%
シャープ部品・付属品	kg	38,067	193	63,822	254	△40.4%	△24.0%
万年筆及びボールペンの部分品	kg	356,328	1,200	250,846	895	42.1%	34.1%
合計金額			24,201		24,899		△2.8%

Gはクロス(144本)

日本貿易統計

（金額は百万円）

輸入	単位	2002年4-6月度		2001年4-6月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量%	金額%
ボールペン	千本	48,304	1,496	40,906	1,607	18.1%	△6.9%
マーキングペン	千本	41,041	625	52,953	542	△22.5%	15.3%
シャープペンシル	千本	8,769	288	5,650	325	55.2%	△11.4%
万年筆	千本	108	201	198	256	△45.5%	△21.5%
以上のセット品	千S	568	38	484	33	17.4%	15.2%
鉛筆	kg	368,305	289	316,494	283	16.4%	2.1%
しん	kg	85,199	87	46,273	45	84.1%	93.3%
パステル、チョーク	kg	374,932	192	219,438	92	70.9%	108.7%
			(小計3,216)		(小計3,183)		
ボールペン用中しん	千本	10,462	105	8,872	104	17.9%	1.0%
ペン先及びニブポイント	千本	40,773	69	59,347	64	△31.3%	7.8%
ボールペン又はシャープの部品及び付属品	kg	158,255	449	136,657	413	15.8%	8.7%
ペン軸、その他部分品	kg	24,568	61	22,782	70	7.8%	△12.9%
合計金額			3,900		3,834		1.7%

(鉛筆重量を本数に換算する目安：0.7kg=1クロス)

JWIMAホームページ開設

調査研究・広報委員会

調査研究・広報委員会(石川真一委員長)は、会員相互の情報交換手段としてインターネットの活用を図ることを目的に、「JWIMAホームページ」を10月1日、開設しました。アドレスは次の通りです。

<http://www.jwima.org/>

内容は、広く業界の方々に本工業会への理解を深めてもらうページと、本工業会会員がパスワードを共有して情報を閲覧・交換するページの二部形式になっています。一般公開情報は、①工業会概要②組織図③事業計画④会員名簿(和文)⑤Member List(English)⑥国内筆記具関連統計 ⑦topics(最新情報)。会員のための情報は議事録閲覧と掲示板です。

★ ★

「JWIMAホームページ」の制作にあたっては、会員公募方式を導入。デザイン募集を呼びかけたところ、トップページイラストは39点の作品が、工業会ロゴタイプは119点の作品が集まりました。石川委員長を中心に審査会を実施し、次の通りの優秀賞が決定しました。デザイナーの皆様、おめでとうございます。

<トップページイラスト審査結果>

最優秀賞	三菱鉛筆(株)	営業部企画室宣伝販促チーム
優秀賞	ゼブラ(株)	宣伝企画部 池田智雄さん
佳作	ぺんてる(株)	マーケティング課 長谷川夕美子さん
佳作	三菱鉛筆(株)	営業部企画室宣伝販促チーム

<ロゴタイプ審査結果>

最優秀賞	三菱鉛筆(株)	営業部企画室宣伝販促チーム
特別賞	ぺんてる(株)	マーケティング課 村口俊一さん

(最優秀賞の作品が採用され、ホームページに掲載されています。ぜひアクセスください)

経済産業省からのお願い

統計調査に御協力ください

平成14年工業統計調査を12月31日現在で行います。調査の実施にあたっては、本年12月から来年1月にかけて調査員がお伺いします。なお、調査票に記入いただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確な御記入をお願いします。

(経済産業省)

「優良工場見学会」実施

総務委員会

総務委員会(横井文夫委員長)は「優良工場見学会」を10月16日実施しました。視察先は、富士フィルム足柄工場と山上蒲鉾店でした。応募した会員31名は、午前8時にJ R日暮里駅前に集合、バスで一路、富士フィルム足柄工場に。

「写るんです」等を生産する従業員4500名のビッグなラインを視察しました。製品設計におけるリサイクル配慮、循環型工場施設など新鋭のリユース・リサイクル生産システムに目を見張りました。

記念撮影後、バスで小田原へ。昼食の後、創業明治11年の「山上蒲鉾店」を訪問し、蒲鉾のできるまでを見学しました。日暮里に戻ったのは午後5時過ぎ。貴重な社会学習をした一日でした。

お知らせ

★中国の筆記具メーカー等が登録した意匠に関する情報がひとまとめになった「中国意匠公報」(1992年7月-2002年9月編)のCD-ROMを入手しました。事務局が保管しています。ご自由に閲覧ください。

★万年筆・シャープペンシル・ペン先の製造業、ボールペン・マーキングペンの製造業、及び鉛筆の製造業に適用されている中小企業信用保険法第2条第3項第5号に係る「特定業種」の指定が改めて本年末日まで延長されました。「特定業種」に指定されますと、金融機関から借入をする際に信用保証協会の「特例保証」を受けられます。特例保証を含む保険限度額は、普通保険4億円、無担保保険1億6千万円、特別小口保険2,500万円です。(お問い合わせは事務局まで)

★細谷百美事務局長が平成14年度経済産業省所管統計調査功績者表彰に選ばれ、経済産業大臣賞を授賞しました。本工業会の細谷事務局長は、筆記具等の統計調査業務に永年にわたって従事、この功績が評価され、今年度の功績者表彰に選ばれました。今年度の該当者は細谷さん一人でした。おめでとうございます。

★本年を締めくくる「JWIMA講演会・懇親会」は12月19日(木)に開催が決定しました。ことしは講演会の講師にジュディ・オングさんをお招きします。会費は1万円です。皆様のご参加をお待ちしております。

日本筆記具工業会 講演会

講師 ジュディ・オングさん

平成14年12月19日午後5時／上野精養軒



輝いて生きる 21世紀「人生の生き方」

日本筆記具工業会は12月19日、上野精養軒で講演会を開催しました。講師は「たそがれの赤い月」(67年)で50万枚の大ヒットを、つづく79年に「魅せられて」のヒットでレコード大賞を受賞され、不動の地位を築かれた歌手・女優のジュディ・オングさんでした。

当日の服装は「魅せられて」のステージ衣装を思い出させる白のスーツ。あのみんな知っている満面の笑みが会場をなごませました。

主題はご自身が用意された「輝いて生きる 21世紀『人生の生き方』」。ジュディさんは数カ国語をあやつる才女でいらっしゃいますが、国際人になるには「語学ばかりでなく、可能性に一步前進しようとする若い心が大切」と語り、若さを保つ心得を楽しく指導してくださいました。

本工業会が用意した席は万席になる盛況ぶりでした。講演後、写真撮影のサービスもいただきました。参加した会員一同は、ジュディさんのますますのご活躍をお祈りつつ、拍手でお見送りしました。

＜ジュディ・オングさん講演内容の要旨＞

♪子供のころの言葉

台湾で生まれ、3歳のとき日本へ。日本の友達が出来るとつれ、だんだん台湾語が出来なくなりました。両親は母国語を大事にしており、家の中では日本語に返事をしてくれないこともありました。「おなかがすいた」という台湾語を思い出し、家の中では母国語、お友達とは日本語で話すようになりました。

♪国際人のパスポート

二つの言葉を覚えることは大変なことです。人間の能力は鍛えれば向上するものです。「自分の可能性を試してみたい」という心を持っている人間が国際人のパスポートを持っている」と思います。何も語学ばかりが相手と心を通じ合わせるものではなく、料理でも、歌でも、スポーツでも自分の可能性に一步進むことが大切です。

♪ 脳の開発

右脳は感性、イマジネーション、創造力。左脳は知性、論理。右脳を使うことで若返りが出来るのです。

♪ 永遠の25歳

私は永遠の25歳、と思っています。心が若いとほかのことも自然とついてきます。夢を捨ててしまったその日から老化現象が始まりますよ。

♪ 3種類の年齢

精神年齢、肉体の年齢、戸籍上の年齢がありますが、3つ目は忘れましょう。大事なことは25歳の精神年齢を保つことです。

♪ いい声いい笑顔

番組の司会をしていたころゲストを迎えるとき「こんにちは ジュディ・オングです。今日はよろしくお願ひいたします」と自分の一番明るい、自分の一番いい声をお客様にプレゼントします。この挨拶によってその日の仕事の8割は決まります。ご家庭でも「いい声、いい顔、いい笑顔」を実行して下さい。

♪ 鏡と話す

毎日、鏡に向かって自分の一番いい顔を作ると、その顔が身についてくるものなんです。

♪ 青い空、青い海

飛行機から見た沖縄の海の思い出話。グレーの空はグレーの海をつくる、晴れた空はエメラルドブルーのきれいな海を作ります。これは人生と同じ。こちらの表情、相手の表情が周りを暗くします。逆に周りの空気でもやる気を出すこともあります。

♪ 人間は光

人間は光です。自分が光を出せば相手も明るくなり、自分の人生も明るくなる。体を壊したときに感じたことは「『病は気から』の反対に『元気も気から』」ということです。元気という字は気の元と書きます。

♪ 恩返し

自分が元気になったとき、恩返しをしたいと思いました。歌を通じて住みよい世界にすることが出来たら恩返しになるかもしれないと考えました。日本と中国の

友好の掛け橋になるようにと万里の長城、紫禁城（きんぎょう）、天安門広場や上海、香港といった場所で日本の歌手と中国の歌手と一緒にコンサートをしたい、と思うようになりました。私は台湾生まれなので本土で歌うことは簡単なことではないのですが、出来る！絶対出来る！と25歳のパワーと夢を持ってやり遂げました。

♪ コンサートの副産物

日本と中国、お互いの文化の違いを認める大切さを実感しました。同じ箸を使う民族ですが置き方に違いがあるのです。こんなことから向かい合うことも国際化なのです。

♪ お年寄り

役に立つシルバーになるため、みんなと仲良くしていくためにどうすればいいのか考えておきましょう。若い世代は先輩たちから教えてもらう、老人は教えられる中身を持っておくことがあって初めていい関係が成り立つのではないのでしょうか。

♪ お茶

お茶を飲む時間は知識を得る大切な時間です。それは本や学校の知恵だけではなく家庭の知恵として残っていくものです。現代の風潮は一人になって交わることを避けますが、すばらしい出会い、物事に触れるためにどんどん交流しましょう。

♪ 「悦己悦人」(えつみえつじん)

自分が心から楽しんでいけば人も楽しませてあげられるという言葉です。これが元気の元、病気にならない考え方、夢を持って、パワーをもって、永遠の25歳として人生を輝いて生きる言葉です。どうぞ皆様も人生を輝かせてください。

(了)

<プロフィール>

父君の仕事の関係で3歳で来日、11歳で日米合作映画「大津波」でデビュー。その後、映画、ドラマ、舞台などに数多く出演。72年金馬奨（台湾の映画大賞）で出演した「真假千金」が最優秀主演女優賞。73年の第19回アジア映画祭では「愛の天地」で特別演技賞を受賞した。

歌手としては16歳でデビュー。67年に「たそがれの赤い月」（売上50万枚）、79年に「魅せられて」でレコード大賞、NHK紅白歌合戦に出演。87年に歌ったドラマ「おしん」の中国語のテーマ曲となった「信」がアジアでヒット。香港のレコード大賞を受賞。こうした実績から「華僑三宝」といわれる。

